

令和5年司法試験合格体験記

令和4年度修了(既修コース) 高橋 唯

18期既修の高橋唯です。私は、高校3年生の頃に、初めて刑事事件の裁判傍聴をした経験をきっかけに弁護士を志しました。初めてみた裁判で、弁護人の方は、被告人の更生、ひいては社会全体の利益を追求するために大変熱心な弁護をされており、そのような姿に感銘を受けて、岡山大学法学部、ロースクールに進学しました。合格体験記を執筆するにあたり、合格までの道のりを振り返ってみると、岡大に進学して本当によかったなどと改めて実感しました。

まず、ロースクールの授業が充実した内容であることです。私は既修コースでロースクールに進学しましたが、入学当初はまだまだ学習が進んでおらず、演習科目についていくので必死でした。そのため、特に1年目は、日々の授業とその予習・復習だけで精一杯の毎日でした。しかし、ロースクールで提供される授業の内容は、非常に充実したもので、これらをしっかり吸収することができれば、合格には十分でした。在学生のみなさんの中には、授業やゼミ以外の学習が進んでいないことに不安がある方もいらっしゃるかもしれませんが、焦って手を広げることなく、日々の授業に集中されるとよいと思います。

また、先生方との交流の機会が多い点も、大変ありがたかったなと思います。面談等を通して、学習面だけでなく生活面についても相談でき、安心して学習に集中できる環境がありました。気軽に質問や相談ができるアットホームな雰囲気は、少人数のロースクールならではのものであり、岡大の魅力だと感じました。

司法試験に合格するまでには、様々な苦労がありましたが、岡大の先生方をはじめ、多くの方に応援していただき、法曹としてのスタートラインに立つことができました。今後はこれまで以上に努力が必要であると思いますが、高校生の頃に憧れた弁護士のような立派な法曹になれるよう、頑張りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。